



| | |
|---------------------------|----|
| 株主のみなさまへ／長期構想 SIC27 | 1 |
| 業績ハイライト | 3 |
| 事業別活動報告 | 4 |
| グループピックアップ | 8 |
| CSR／サステナビリティ | 9 |
| コミュニケーション広場 | 10 |
| 連結財務諸表の要旨 | 11 |
| 会社情報 | 12 |
| 株式情報 | 13 |

株主のみなさまへ



株主のみなさまにおかれましては、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

新型コロナウイルス感染症への対応が2年を越え、また、今年2月のロシアのウクライナ侵攻影響で、エネルギーや原材料価格の大幅な高騰ほか、世界のさまざまなサプライチェーンに大きな変動が起きています。その間、私たち東洋インキグループはニューノーマルはじめさまざまな環境変化への適応を続けてきましたが、このような変化の激しい、そして、先行き不透明な今だからこそ企業としての責任を果たすべく、何を「拠り所」として行動していくべきかを明確にしました。それが2021年からの中期経営計画「SIC-II」で掲げた「新たな時代に貢献する生活文化創造企業を目指す」であり、グループの経営理念ともつながる基軸となるものであります。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和されるなかで持ち直しの動きが見られますが、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制等を受けた原材料やエネルギーの価格高騰、供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等により厳しい環境が続いております。

このような環境のなかで東洋インキグループは、年度方針である「事業の収益力強化」、「重点開発領域の創出と拡大」、「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,547億58百万円（前年同期比11.1%増）と増収になりましたが、営業利益は46億15百万円（前年同期比36.2%減）、経常利益は67億28百万円（前年同期比22.3%減）と、それぞれ減益になりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は84億10百万円（前年同期比33.1%増）と増益になりました。

日本および世界各地の全社員の意思と力を結集し、「新たな時代に貢献する生活文化創造企業」を目指す東洋インキグループの成長にご期待いただきたいと思います。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも末永くご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2022年8月

代表取締役社長 高島 悟

私たち東洋インキグループは、
世界にひろがる生活文化創造企業を目指します。

長期構想 SIC27

企業活動コンセプト

Scientific Innovation Chain 2027

科学的に実行する×革新的に発想する×それぞれの活動を連鎖させる

提供価値

For a Vibrant World

すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界の実現

中期経営計画「SIC-II」

◎目指す姿

新たな時代に貢献する生活文化創造企業

◎重点開発領域の創出と拡大



◎事業の収益力強化

戦略的な高収益事業群の形成
低収益事業の再編・改革・撤退

◎持続的成長に向けた
経営資源の価値向上
(企業体質の変革)



2023年
計数目標

売上高
3,000億円
営業利益
220億円

2020年

売上高
2,577億円
営業利益
129億円

SIC-I

2018-2020

挑戦を繰り返す

SIC-II

2021-2023

新しい成果を積み重ねる

SIC-III

2024-2026

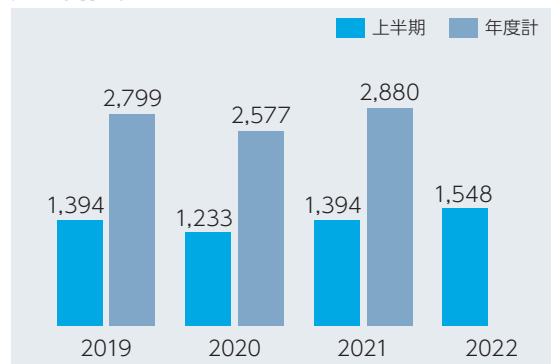
持続可能な企業体質
を創り上げる

業績ハイライト

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

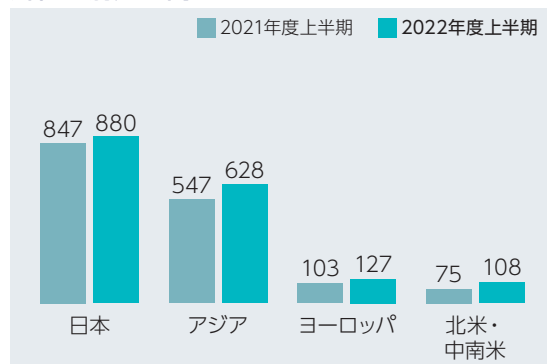
売上高推移

単位：億円



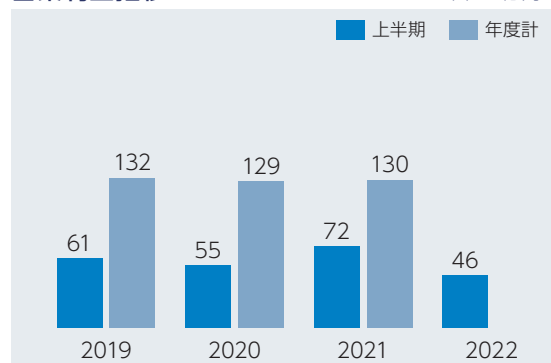
所在地別売上高

単位：億円



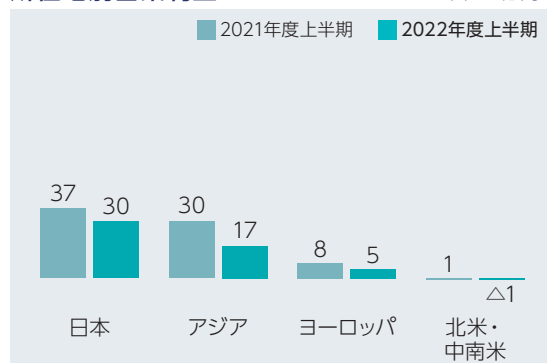
営業利益推移

単位：億円



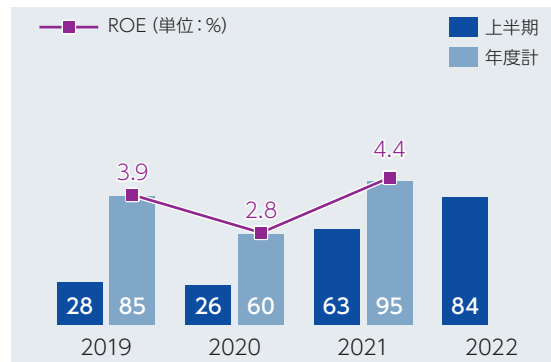
所在地別営業利益

単位：億円



親会社株主に帰属する当期純利益推移・ROE

単位：億円



色材・機能材関連事業

色材のリーディングカンパニーである当社グループにとって、有機顔料の合成技術は原点の一つ。ナノレベルの分散技術は、液晶ディスプレイ用材料やレジストインキ、カーボンナノチューブなどにも展開されています。

中核事業会社：トーヨーカラー株式会社

◇主な製品 有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、カラーフィルター用材料、インクジェット材料など

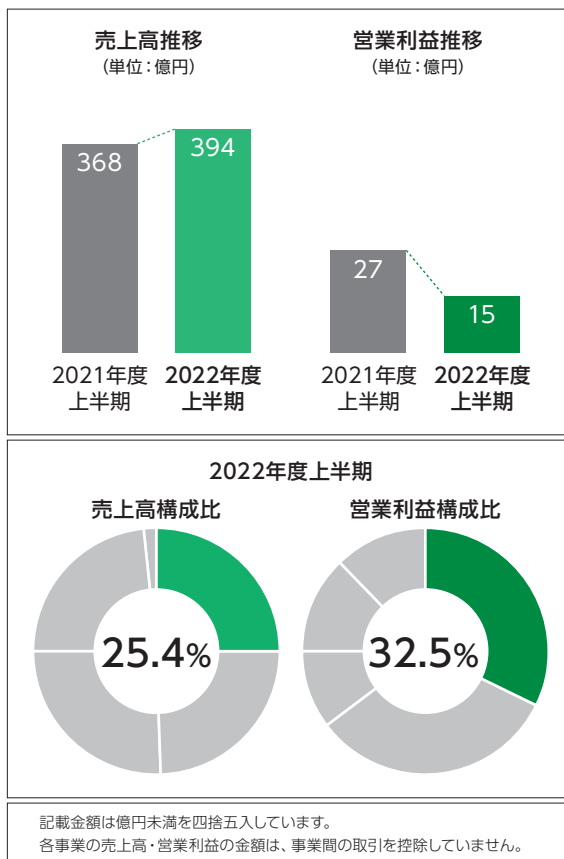


■ 当第2四半期までの概況

液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、中国や台湾での拡販は進んだものの、液晶パネル市場における減産の動きにより大型テレビ用等の需要が減少したことから、全体としては伸び悩みました。

プラスチック用着色剤は、容器用が食品容器向けを中心に堅調でしたが、半導体等の部材不足や中国でのロックダウンに伴う影響により自動車用や事務機器用が伸び悩みました。

インクジェットインキは、商業印刷用やサイン用が堅調に推移しました。また、車載用リチウムイオン電池材料は、米国や欧州での供給を開始し、事業の拡大に向けた拠点整備が進みました。



ポリマー・塗加工関連事業

樹脂（ポリマー）を素に、合成や塗加工の技術を生かし、自動車やエレクトロニクスの分野、太陽電池などのエネルギー分野、メディカル・ヘルスケア分野などで多くの機能性製品が採用されています。

中核事業会社：トヨーケム株式会社

◇主な製品 缶用塗料、樹脂、接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、メディカル製品など



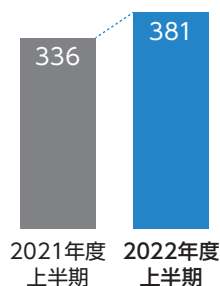
■ 当第2四半期までの概況

塗工材料は、導電性接着シートや電磁波シールドフィルムがスマートフォンの新モデル需要もあり堅調でしたが、電子部品や自動車向けの耐熱微粘着フィルムは顧客での在庫調整もあり伸び悩みました。

接着剤は、国内ではスナックやペットフード向けなど包装用が堅調に推移しましたが、粘着剤は、ラベル用やディスプレイ用が伸び悩みました。海外では、米国やインドでの設備増設により粘着剤の拡販が進んだほか、接着剤も食品や薬品向けに包装用が伸長しました。

缶用塗料は、国内では家庭内需要により飲料缶用が堅調に推移したうえ、機能性を付与した新製品の拡販も進みました。また、海外でも酒類などの飲料缶用の販売が増加しました。

売上高推移
(単位：億円)

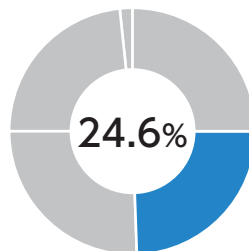


営業利益推移
(単位：億円)

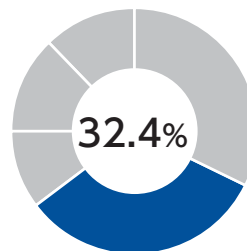


2022年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

パッケージ関連事業

パッケージの製造工程に多様な高機能製品を提供。安心・安全が求められる食品包装の分野では、インキや接着剤の水性化、無溶剤化などを進め、また、サステナブルな社会をめざし、バイオマス製品の開発も行っています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 グラビアインキ、フレキシソインキ、
グラビアシリンダー製版など

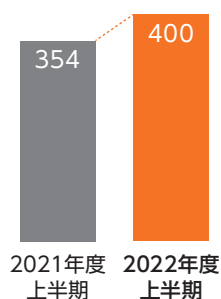


■ 当第2四半期までの概況

リキッドインキは、国内では、冷食や飲料ラベル、麺類等の食品向けの需要が堅調でした。また、各種資材の調達難や価格上昇を見据えた顧客での在庫積み増しの動きが継続し、主力の包装用が好調に推移しました。海外では、中国がロックダウンによる影響で低調でしたが、他の地域では新型コロナウイルス感染症による影響が緩和されて経済活動が回復したことや拡販も進んだことにより、堅調に推移しました。

グラビアのシリンダー製版事業は、エレクトロニクス関連の精密製版は堅調でしたが、包装用は新版需要が少なく伸び悩みました。

売上高推移
(単位：億円)

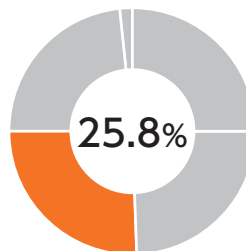


営業利益推移
(単位：億円)

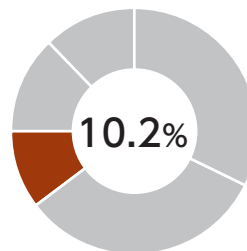


2022年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

印刷・情報関連事業

当社グループの原点であり、重要な基盤事業の一つ。顔料や樹脂から最終製品までを一貫生産できる強みを生かし、環境調和型や高機能など多様な製品を開発。印刷工程での標準化サポートなどのソリューションも提供しています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 オフセットインキ、金属インキ、印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料など

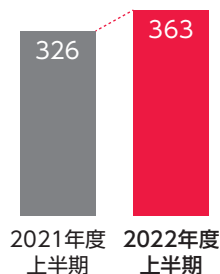


■ 当第2四半期までの概況

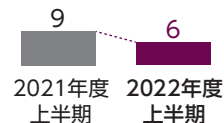
情報系印刷市場の構造的な縮小に加え、国内では、新型コロナウイルス感染症の影響によりチラシや広告、出版向けは低調でしたが、金属印刷用が飲料缶向けに堅調に推移しました。なお、原材料の調達難や価格高騰、エネルギーなどのコスト上昇により利益が圧迫されるなか、同業他社との協業や事業の構造改革によるコストダウンも進めました。

海外では、欧州や中国等でウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染症の影響により市況が低迷しましたが、他の地域では経済活動の回復や拡販が進んだことにより堅調に推移しました。

売上高推移
(単位：億円)

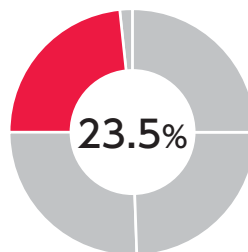


営業利益推移
(単位：億円)

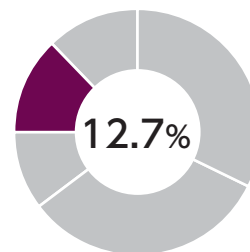


2022年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

深圳にエレクトロニクス関連製品の技術センターを開設

東洋インキグループの深圳東洋油墨有限公司は、2022年7月エレクトロニクス関連製品の開発拠点として深圳東洋油墨有限公司技術中心 (Shenzhen Toyo Ink Co., Ltd. Technical Center) を開設いたしました。



技術交流の活性化で、半導体関連製品の開発を加速

東洋インキグループは2021年から2023年の中期経営計画「SIC-II」において、目指す姿に「新たな時代に貢献する生活文化創造企業」を掲げ、重点開発領域のひとつに「デジタル」を設定しています。深圳東洋油墨は、多数のIT企業が集積し「アジアのシリコンバレー」とも呼ばれる中国広東省深圳市に位置し、その立地を生かしてエレクトロニクス関連製品を中心とした東洋インキグループ製品を取り扱ってまいりました。

この度深圳東洋油墨は、東洋インキグループのデジタル領域の事業拡大に向け、新たに深圳東洋油墨有限公司技術中心 (Shenzhen Toyo Ink Co., Ltd. Technical Center) を開設いたしました。ブランドオーナーやモジュールメーカー等のエレクトロニクス関連企業との技術交流を密に行うことで、半導体周辺の新規開発活動を加速させる拠点として活用してまいります。また本技術センターを通じ、トーヨーケム株式会社の電磁波シール

ドフィルム「リオエルム TSS® シリーズ」や導電性接着シート「リオエルム TSC® シリーズ」、低誘電ボンディングシート「リオエルム TSU® シリーズ」をはじめとした東洋インキグループのエレクトロニクス関連製品についての技術サポートを強化してまいります。

東洋インキグループは、今後もエレクトロニクスの主要ブランドオーナーが集中するアメリカ、中国、日本を中心に積極的な開発・開拓活動を展開し、グローバル No.1 製品の確立・拡充を図り、独自の技術から生まれた製品やサービスの提供を通じて世界の人びとの豊かさや文化に貢献し、社会課題解決に貢献できる企業を目指してまいります。



京橋本社オフィスで 再生可能エネルギーの全量導入を開始

このたび東洋インキSCホールディングス株式会社ならびに国内主要グループ会社の本社オフィスが入居している複合オフィスビル「京橋エドグラン」（東京都中央区）では、2022年4月1日より施設共用部および希望する入居者の専有部で使用される電力について、東京電力エナジーパートナー株式会社（以下、東電EP）が提供する、トラッキング付非化石証書の使用によって実質的に再生可能エネルギー由来となる電力（以下、再エネ電力）の導入を行うことが決まりました。

このスキーム構築により、同オフィスビルの入居者においても、再エネ電力の調達が可能となったことを受け、当社グループは、『2050年までにカーボンニュートラル達成』を目標とする中長期サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」の具体的な取り組みの一環として、2022年4月1日より、本社オフィスにて使用する電力について100%再エネ電力への切り替えを実施いたします。

今回の取り組みは、当社グループの国内非生産拠点における再エネ導入としては、東洋インキ株式会社関西支社（ダイビル本館；大阪府大阪市北区、2021年12月開始）に続く2例目となります。

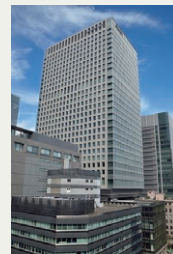
東洋インキグループは、今後もこれらの取り組みをはじめとする中長期サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」の推進を通じて、当社グループとお客様・社会の環境負荷低減、脱炭素化、持続的成長に貢献してまいります。

東洋インキグループは、
中長期サステナビリティビジョン
「TSV2050/2030」を掲げ、
気候変動への対応、
カーボンニュートラルの達成、
およびSDGs達成のための
企業グループとしての貢献を
推進しています。



東洋インキグループ
オリジナルキャラクター
リオちゃん

今回導入する再エネ電力は、事業で使用する電気を100%再生可能エネルギーで調達することを目指す企業等によるイニシアチブ「RE100」対応の電力となります。これにより、当社グループの専有部においては、年間約650MWh（2020年度実績、CO₂排出量換算年間約288トン相当※）が再エネ電力に切り替わり、当社グループの非生産拠点におけるCO₂排出を実質的に大幅削減できます。なお、同オフィスビル施設共用部においては、年間約7,200MWh（2020年度実績、CO₂排出量換算年間約3,175トン相当）が再エネ電力に切り替わることとなります。



京橋エドグラン

※計算式

$$\text{CO}_2\text{排出量} = \frac{\text{東電EP調整後}}{\text{排出係数}0.443\text{kg}} - \text{CO}_2/\text{kWh} \times \text{使用電力量} \text{ kWh}$$

Q 投資情報をもっと発信してほしい。

当社では、株主のみならずと双方向コミュニケーションを目指し、年に1回アンケートを実施しています。ここでは、特に多くの方からいただいたご質問・ご要望にお答えいたします。

A 東洋インキSCホールディングスのウェブサイト「個人投資家の皆さまへ」ページを新設いたしました。

東洋インキグループでは、近年の個人の株式投資への関心の高まりを受け、株価の下支えや安定的な株主構成の構築などを目的に個人投資家へのIR活動を強化しています。これまでは個人投資家向け会社説明会などを中心に広報・IR活動を行ってきましたが、より多くの個人投資家のみなさまへ当社の情報を発信していくために、この度、専用のウェブページを新設いたしました。

ホームページの
投資情報が
充実しました



本ウェブページは「3分でわかる東洋インキグループ」「株主になるメリット」「東洋インキグループのこれから」「もっと知りたい方へ」の4つの要素で構成しています。特にメインコンテンツである「3分でわかる東洋インキグループ」では、「化学メーカーの事業は難しくて分かりにくい」という声が多いことをふまえ、当社グループの事業や製品・強み・成長性について簡易な表現で短時間で理解できるコンテンツとして作成しました。

これからも当社グループの姿を個人投資家のみなさまへお伝えし、長期的なファンになっていただくための活動を推進してまいります。



<https://schd.toyoinkgroup.com/ja/ir/individual/>

連結財務諸表の要旨

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

| 科目 | 2021年12月31日現在 | 2022年6月30日現在 |
|-------------|---------------|--------------|
| 流動資産 | 2,236 | 2,378 |
| 固定資産 | 1,833 | 1,868 |
| 資産合計 | 4,069 | 4,247 |
| 流動負債 | 1,121 | 1,195 |
| 固定負債 | 678 | 661 |
| 負債合計 | 1,799 | 1,856 |
| 資本金 | 317 | 317 |
| 資本剰余金 | 325 | 325 |
| 利益剰余金 | 1,517 | 1,529 |
| 自己株式 | △98 | △96 |
| その他の包括利益累計額 | 122 | 220 |
| 新株予約権 | 2 | 1 |
| 非支配株主持分 | 83 | 94 |
| 純資産合計 | 2,269 | 2,391 |
| 負債純資産合計 | 4,069 | 4,247 |

連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

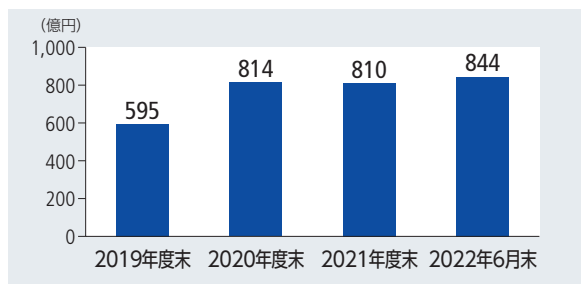
| 科目 | 2021年度上半期 | 2022年度上半期 |
|------------------|-----------|-----------|
| 売上高 | 1,394 | 1,548 |
| 売上原価 | 1,094 | 1,269 |
| 販売費・一般管理費 | 227 | 233 |
| 営業利益 | 72 | 46 |
| 営業外収益 | 20 | 36 |
| 営業外費用 | 6 | 15 |
| 経常利益 | 87 | 67 |
| 特別利益 | 2 | 54 |
| 特別損失 | 4 | 2 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 85 | 120 |
| 法人税・住民税及び事業税 | 29 | 43 |
| 法人税等調整額 | △8 | △7 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 63 | 84 |

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

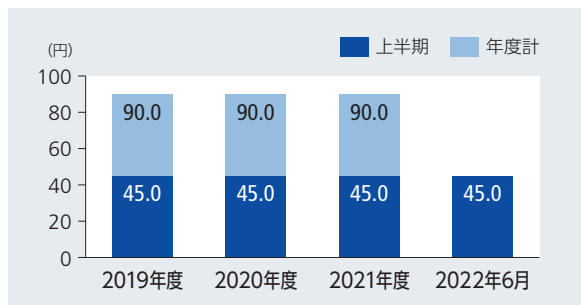
(単位：億円)

| 科目 | 2021年度上半期 | 2022年度上半期 |
|------------------|-----------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 73 | △3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △101 | 15 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △85 | △62 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 12 | 28 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △100 | △21 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 731 | 609 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 631 | 588 |

◎有利子負債の状況



◎1株当たり配当金



●中間配当金：1株につき45円

●中間配当の効力発生日（支払開始日）：2022年9月1日

会社概要

| | |
|---------|--------------------------|
| 創業 | 1896 (明治29) 年1月 |
| 設立 | 1907 (明治40) 年1月15日 |
| 資本金 | 31,733,496,860円 |
| 発行済株式総数 | 58,286,544株 |
| 社員数 | (連結) 7,929名 (単独) 410名 |

役員 (取締役)

| | |
|------------|-------|
| 代表取締役会長 | 北川 克己 |
| 代表取締役社長 | 高島 悟 |
| 専務取締役 | 青山 裕也 |
| 常務取締役 | 濱田 弘之 |
| 取締役 | 金子 眞吾 |
| 取締役 | 小野寺千世 |
| 取締役 | 池上 重輔 |
| 取締役常勤監査等委員 | 平川 利昭 |
| 取締役監査等委員 | 横井 裕 |
| 取締役監査等委員 | 木村 恵子 |
| 取締役監査等委員 | 松本 実 |

グループ主要営業品目

有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、カラーフィルター用材料、缶用塗料、樹脂、接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、メディカル製品、グラビアインキ、フレキシソインキ、グラビアシリンダー製版、オフセットインキ、金属インキ、印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料、インクジェット材料

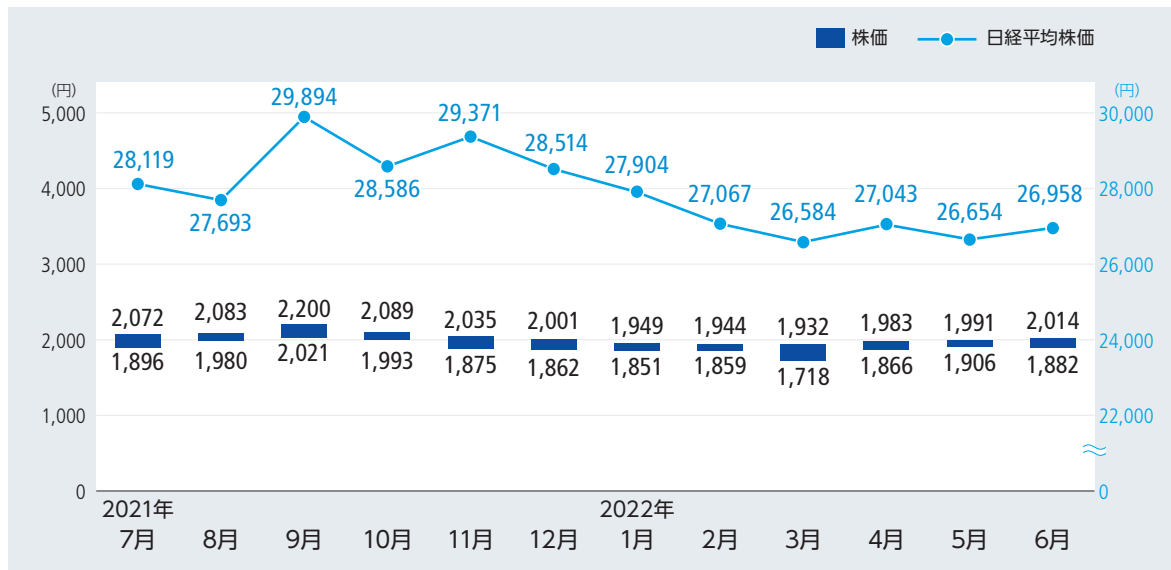
事業拠点

※太字 製造拠点含む

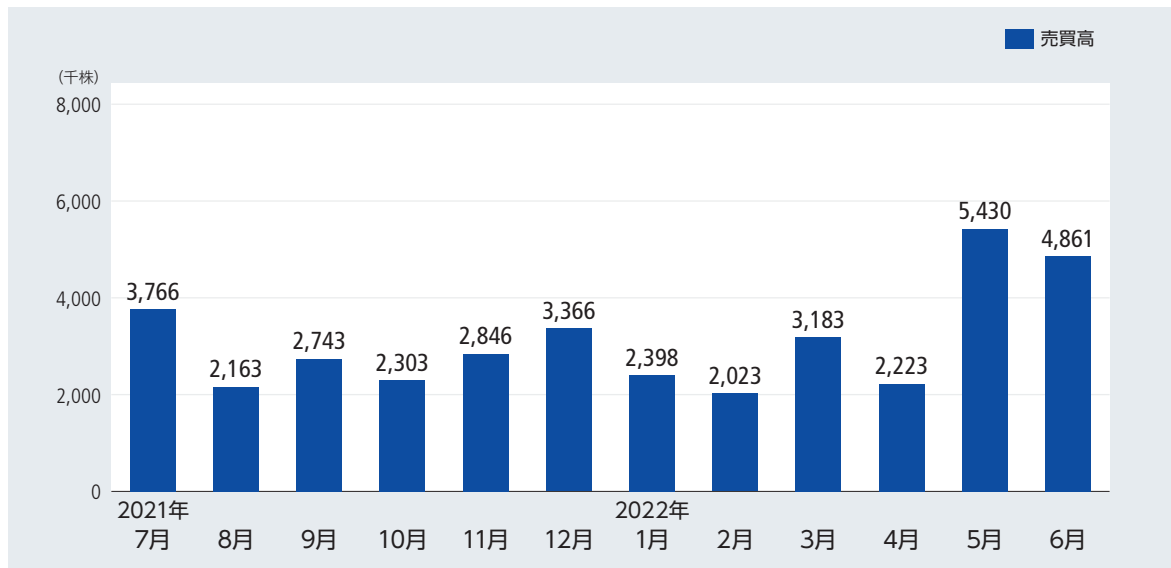
| | |
|---------|--|
| 国内拠点所在地 | 札幌 千歳 仙台 京橋 十条(東京) 千葉 茂原 川口 坂戸 川越 滑川(埼玉) 富山 新潟 名古屋 春日井 静岡 富士 守山 大阪 寝屋川 京都 神戸 姫路 尼崎 井原(岡山) 広島 高松 福岡 北九州 熊本 |
| 海外拠点所在地 | アメリカ合衆国 ブラジル メキシコ フランス ベルギー イギリス ドイツ ハンガリー リトアニア トルコ 中華人民共和国 台湾 大韓民国 シンガポール タイ マレーシア ミャンマー フィリピン インドネシア ベトナム インド アラブ首長国連邦 モロッコ |

株式情報

◎株価の推移 (東京証券取引所)



◎売買高の推移 (東京証券取引所)



◆大株主

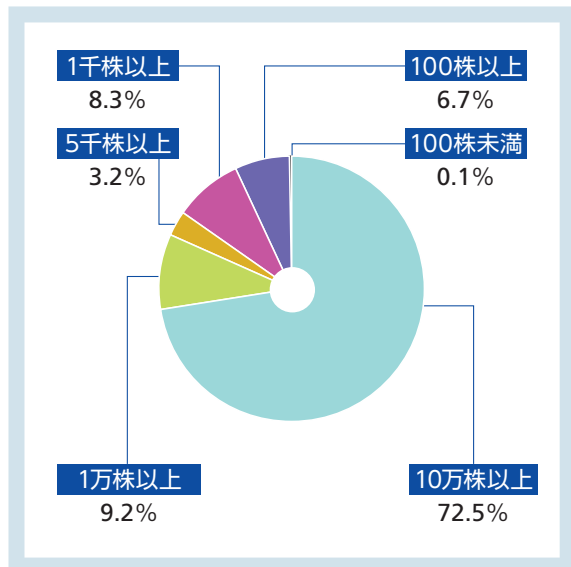
2022年6月30日現在

| 順位 | 会社名 | 持株数(千株) | 持株比率 |
|----|--|---------|--------|
| 1 | 凸版印刷株式会社 | 11,016 | 18.90% |
| 2 | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 5,638 | 9.67% |
| 3 | 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,782 | 3.06% |
| 4 | 株式会社日本触媒 | 1,661 | 2.85% |
| 5 | 東洋インキグループ社員持株会 | 1,559 | 2.68% |
| 6 | SMBC日興証券株式会社 | 1,172 | 2.01% |
| 7 | 東洋インキ取引先持株会 | 923 | 1.58% |
| 8 | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 874 | 1.50% |
| 9 | 株式会社三菱UFJ銀行 | 753 | 1.29% |
| 10 | 株式会社みずほ銀行 | 753 | 1.29% |

※自己株式4,732千株を除く

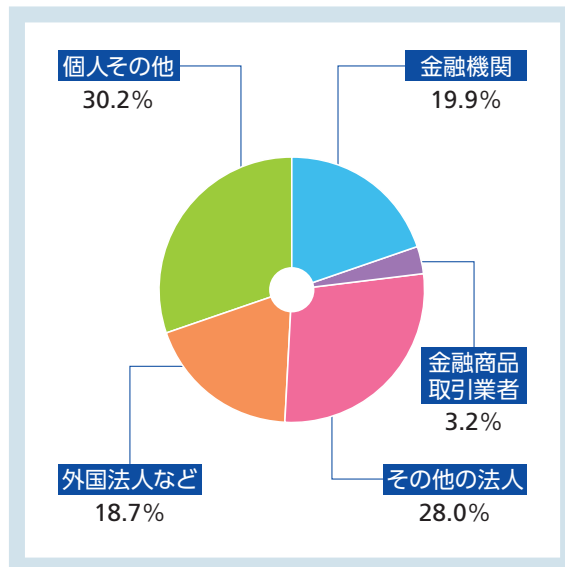
◆所有数別株式数比率

2022年6月30日現在



◆所有者別株式数比率

2022年6月30日現在



株式のご案内

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 ●定時株主総会・期末配当：毎年12月31日
●中間配当：毎年6月30日

株主名簿管理人

および
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00-17:00(土日休日を除く)

◎住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

◎未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を1年以上かつ200株以上継続保有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じた優待品を、当社オリジナルカタログから1点お選びいただき、贈呈いたします。毎年9月下旬頃に当社オリジナルカタログを発送させていただきます。

東洋インキ SC ホールディングス株式会社

〒104-8377 東京都中央区京橋二丁目2番1号

この冊子に関するお問い合わせ先 グループ総務部 TEL.03(3272)5731
インターネットによるお問い合わせ先 <https://schd.toyoinkgroup.com>
E-mail info@toyoinkgroup.com



この報告書は、当社グループのTOYO KING® NEX NVシリーズを使用して印刷しています。
このインキは、バイオマス度40%以上で、石油系の揮発性有機化合物(VOC)を含まない環境にやさしいインキです。